県内経済の動き

概　況　〔2月～4月の動き〕

県内経済は足踏み状態が続く。

生産活動は一進一退の動き。大型小売店の総販売額（3月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年を下回った。乗用車の販売台数（4月 軽自動車を含む）は、普通乗用車が7カ月ぶりにプラスに転じたものの、全体では10カ月連続で前年比減少、新設住宅着工戸数（3月）も前年比13カ月連続で減少と低迷が続く。公共工事（3月 保証対象請負総額）は2カ月連続で前年を下回り、輸出額（3月 細島港）は4カ月連続で前年比増加した。有効求人倍率（3月：0.98倍）は前月比0.01ポイント上昇した。

一部に緩やかな持ち直しの動きがみられるものの、その動きは弱く、県内経済は足踏み状態が続いている。（黒木）